

Evidian Web Access Manager

信頼できるWebアクセスの基礎

Evidian Web Access Managerは、Webアプリケーションを保護する一貫性のあるインフラストラクチャを提供することで、組織のセキュリティポリシーの整合性を高め、管理コストを削減し、eビジネス活動を促進します。



アプリケーションへのアクセスを合理化し、強化する

Evidian Web Access Managerを使用すると、Webアプリケーションのセキュリティを1つの制御ポイントから簡単に管理できます。Evidian Web Access Managerは、強力な認証、多要素認証、およびきめ細かいアクセス制御によってセキュリティを強化するだけでなく、カスタマイズおよびシングル・サインオン (SSO) 機能によってユーザーの生産性も向上します。Evidian Web Access Managerは、認証の証明を提供し、クラウドアプリケーション (Office 365™、GoogleApps™、SalesForce™、...) へのアクセスを可能にします。

Webアプリケーションおよび動的認可のためのSSO

ユーザーがEvidian Web Access Managerに接続されると、複数のWebサイトまたはアプリケーションへの接続は透過的になります。パスワードと認可は、Evidian Web Access Managerによってアプリケーションごとに動的に提供されます。シングル・サインオンは、複数のログインやパスワードの変更に伴うユーザーのフラストレーションを解消し、ユーザーの生産性を向上させます。

Webアクセスの一元管理と強力な認証

Evidian Web Access Managerでは、誰が何にアクセスできるかを制御することで、組織の重要なWebアプリケーションを保護できます。統合されたリバースプロキシのおかげで、単一のパスワード、統合されたWindows認証のいずれかを使用してユーザーを一元的に認証します。トークン、RADIUS、X.509証明書、スマートカード、またはソフトOTPが生成され、SMS、電子メール、グリッドカード、QRentry™、およびFIDO 2標準を介してユーザーに通信されます。識別されたユーザーは、特定のプロファイルに従って、アクセス権のあるリソースにのみアクセスできます。Evidian Web Access Managerを使用すると、複数の認証ポリシーを組み合わせて、マルチレベルおよび多要素認証を構築できます。

Evidian QRentry™

Evidian QRentry™では、ユーザーはQRコード™とスマートフォンで認証されます。QRentry™ソリューションでは、プライベート・パブリックのタブレットまたはコンピュータ上のブラウザからのQRコードに基づいて、Webポータルへの多要素認証が可能です (BYOD、非管理対象デバイス...)。

BYODおよび非管理対象デバイスアクセス

Web Access Managerを使用すると、多要素認証とシングル・サインオンが非管理対象デバイスに拡張されます。これにより、デバイスにエージェントをインストールしたり、内部ネットワークの外にアプリケーションパスワードを公開したりする必要がなくなります。さらに、PC、タブレット、スマートフォンがIDフェデレーション標準を使用してクラウドアプリケーションにアクセスできるようにします。

SAMLベースのマルチドメイン管理

Evidian Web Access Managerを使用すると、分散されたコミュニティを相互運用し、異なるセキュリティ・ドメインに対して個別の管理を使用できます。ユーザーのドメインによってリアルタイムで生成されたSAML認証を使用し、各エンティティは信頼されたドメインのユーザーにサービスへのアクセスを動的に認可できます。このアプローチにより、SaaSプロバイダーへのアクセスを管理することもできます。ユーザーは、信頼されたドメイン間でフェデレーションまたは自動プロビジョニングされる場合があります。SAMLベースのマルチドメイン管理、およびソーシャル認証 (パートナーまたはクライアントの分散されたコミュニティのアクセスを管理および制御するためのキー) をサポートします。

ビジネス向けの多要素認証とWebアクセス管理

カスタマイズされたユーザー環境

ユーザーがEvidian Web Access Managerによって認証および管理されると、1つのページ・インターフェイスにアクセスし、そこからさまざまな統合ソリューションをナビゲートできます。カスタマイズされたナビゲーションメニューが動的に生成され、プロフィールに適したWebリソースが表示されます。

このカスタマイズ機能は、Evidian Web Access Managerに標準で用意されています。また、任意のサード・パーティーのポータル・ソフトウェアにも統合できます。

高度なアクセス管理とセルフサービス

1つのコンソールを使用して、LDAPディレクトリと連動した社内へのアクセス権を管理できます。このようにして、ユーザは、自己登録、ソーシャル認証および登録 (OAuth, OpenID Connect)、パスワードおよびプロフィール管理を含む、自己サービス機能を利用できます。

迅速な導入

Webアプリケーションをより簡単に、より迅速に、より高い信頼性で公開できるため、全体的な競争力が向上します。Evidian Web Access Managerは、コンポーネントを追加したり、アプリケーションを変更したりすることなく、すぐに使用できます。

シンプルアーキテクチャ

Evidian Web Access Managerでは、既存のWebサービスやブラウザ側のプラグインを変更する必要はありません。インテリジェントなリバースプロキシベースのアーキテクチャをサポートします。このアーキテクチャは、運用コストへの影響を最小限に抑えるだけでなく、拡張された企業全体を完全に制御できるようにします。外部パートナーやサービスプロバイダーに対しても、独自のアプリケーションへの統合アクセスを管理できます。

ロード・バランシングと高可用性

Evidian Web Access Managerのサーバは、効率的な高可用性とロード・バランシングのメカニズムに基づいています。その結果、数百万人のユーザーをサポートすることができます。

統合された一元管理

Evidian Web Access Managerは、LDAPディレクトリと直接インタフェースされ、複数のユーザー・ディレクトリに対する認証をサポートしています。これにより、完全な役割ベースのアクセス管理と、安全なアカウント共有が実現します。

拡張された監査およびログツールを提供し、セキュリティ管理者にリスクを警告し、すべてのアクセスを登録します。すべてのユーザーと管理者のアクティビティが監視および監査されます。

一元化された監査とレポート作成

Evidian Web Access Managerは、Webシングル・サインオンのアクティビティに関するアラートを1つの場所にアーカイブできます。これは、セキュリティアラートを分析し、監査を実行する場合に便利です。さらに、Identity Governance & Administrationを導入すると、

Evidian Web Access Managerの監査イベントは、IDおよびポリシー管理アラートとともにアーカイブされます。これにより、分析および監査機能が強化されます。

情報システムが、Sarbanes-Oxley (米国企業改革法)、財務の完全性に関する法律、医療機密に関する法令、PCI DSSなどの法律や規制に準拠していることを確認します。法律や規制の要件に準拠するのに役立ちます。ユーザーがアプリケーションにアクセスしようとする試みを監視できます。これにより、アクセスポリシーが目的を満たしていることを示すことができます。Identity Governance & Administrationには、レポートモジュールが組み込まれており、主要インジケータでダッシュボードを生成できます。また、承認されたユーザーにレポートをアップロードできます。

EvidianのIAMソリューションとの統合

Evidian Web Access Managerは、弊社のアイデンティティ&アクセス管理 (Evidian IAM Suite) ソリューションの一部です。

- プロビジョニングでは、ユーザーへのパスワードの配布を停止します。アプリケーションアカウントはWAMと自動的に同期されます。
- ポリシー管理により、アカウントの実際の使用状況を確認できます。停止・廃止されたアカウントを消去できます。
- Evidian Identity Governance & Administrationを使用すると、承認ワークフローと組み合わせたセキュリティポリシーによって、承認ガバナンスと、IDおよびサービスへのアクセスの完全なライフサイクル管理を実現できます。

GDPR*の前提条件

ID&アクセス管理は、データ保護に関連するリスクを軽減するためのさまざまな技術的対策の1つです。Evidian IAM Suiteは、アクセス制御、強力な認証、IDガバナンスに加えて、すべての製品のロードマップでユーザーの権利の要件に対応します。通知、専用の個人データレポート、セルフサービス機能により、ユーザーは自由に権利を行使し、GDPR準拠のプロセスを実現できます。

* EU一般データ保護規則



強力な認証

Webアクセス管理と多要素認証



シングルサインオン

Web SSO、フェデレーション、および動的認可



セルフ・サービス

エンドユーザーのセルフサービスおよび自己登録



プロビジョニング

自動アクティブ化と失活

ガバナンス

適切な時に適切な権限を持つ適切なID